

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
オペレーティングシステム Operating System		情報メディア学科	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	必修	柴田 道信	
概要				
コンピュータシステムにおけるオペレーティングシステム(OS)の基本的な概念および個々の機能の実現手法を解説する。				
到達目標				
(1) OSの役割、機能、種類を説明することができる。 (2) プロセス管理の基本的な考え方と実現手法を理解し、実際に適用することができる。 (3) 記憶管理の基本的な考え方と実現手法を理解し、実際に適用することができる。 (4) ファイル管理の基本的な考え方と実現手法を理解し、実際に適用することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 オリエンテーション 2 コンピュータとオペレーティングシステム 3 プロセス管理について 4 スケジューリングの基本 5 横取りのないスケジューリング方式 6 横取りのあるスケジューリング方式 7 スケジューリング実例 8 主記憶管理について 9 主記憶の割当て方法 10 空き領域(主記憶)の管理 11 仮想記憶 12 ファイル管理について 13 ファイルとアクセス法 14 ディレクトリと領域割当て方式 15 空き領域(補助記憶)の管理				
テキストおよび 参 考 文 献	授業時に資料を配布			
メ ッ セ ー ジ な ど	PC やスマートフォンをはじめとして様々な情報機器に OS が搭載される時代である。情報分野を専門とする学生には、OS の役割としくみをしっかりと理解してもらいたい。			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) OS の役割、機能、種類を説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。	試験（知識・理解）	25%
(2) プロセス管理の基本的な考え方と実現手法を理解し、実際に適用することができる。	ほぼ完璧に適用できる。	大きな間違いがなく、適用できる。	間違いはあるが、最低限の適用はできる。	適用できていない。	試験（知識・理解・思考力・判断力）	25%
(3) 記憶管理の基本的な考え方と実現手法を理解し、実際に適用することができる。	ほぼ完璧に適用できる。	大きな間違いがなく、適用できる。	間違いはあるが、最低限の適用はできる。	適用できていない。	試験（知識・理解・思考力・判断力）	25%
(4) ファイル管理の基本的な考え方と実現手法を理解し、実際に適用することができる。	ほぼ完璧に適用できる。	大きな間違いがなく、適用できる。	間違いはあるが、最低限の適用はできる。	適用できていない。	試験（知識・理解・思考力・判断力）	25%